記入例

様式第10号の２（第８条関係）

少量危険物
指定可燃物

貯蔵取扱い構造設備明細書

工事施工者		住所　○○県○○市○○町○○丁目○○番地 氏名　○○設備（株）　○○　○○　電話　○○―○○○○		
屋外貯蔵関係	空地の幅		近接建物等	
	区画内面積		防火塀	
	さく等		地盤面	
屋内貯蔵関係	階数	○階	面積	○○．○㎡
	壁	鉄筋コンクリート造	柱	鉄筋コンクリート造
	天井	鉄筋コンクリート造	床	鉄筋コンクリート造
	ためます等	縦○cm×横○cm×高さ○cm	窓・出入口	特定防火設備
	換気・排出設備	自動強制	照明・採光	蛍光灯（防爆）
共通するタンクの構造等	形状	縦置円筒形	寸法	○○×○○
	容量	○○○Ｌ	材質	ＳＳ４００
	板厚	○○ｍｍ	通気管	無弁通気管
	引火防止装置	あり	液量表示装置	フロート式液面計
	注入口	タンク室南側外壁	防食措置	さび止め塗装
	検査	○○年　○○月　○○日　第　○○号		
地下タンク	埋設方法	タンク室		
		室省略		
	基礎		検知管	
移動タンク	常置場所			
	固定方法		間仕切	
	防波板		マンホール	
	防護枠		閉鎖装置	
	先端弁		接地導線	
	注入ノズル等			

<table>
<tr><td rowspan="5">ボイラー等の設置場所</td><td colspan="2">階　　数</td><td>○階</td><td>面　　積</td><td>○○．○㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2">壁</td><td>鉄筋コンクリート造</td><td>柱</td><td>鉄筋コンクリート造</td></tr>
<tr><td colspan="2">天　　井</td><td>鉄筋コンクリート造</td><td>床</td><td>鉄筋コンクリート造</td></tr>
<tr><td colspan="2">サービスタンク</td><td>ボイラー室</td><td>窓・出入口</td><td>特定防火設備</td></tr>
<tr><td colspan="2">機器の種別</td><td>○○ボイラー</td><td>消費量</td><td>○○Ｌ／１日</td></tr>
<tr><td rowspan="14">その他</td><td rowspan="3">配管</td><td>材質・口径</td><td>ＳＧＰ</td><td>防食措置</td><td></td></tr>
<tr><td>開閉弁</td><td></td><td>点検口</td><td></td></tr>
<tr><td>耐震措置</td><td></td><td>重圧措置</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">防油堤</td><td colspan="3">材質　鉄筋コンクリート　容量　○○○Ｌ　排水バルブ　あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">電気設備</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">ポンプ設備</td><td colspan="3">ギヤーポンプ</td></tr>
<tr><td colspan="2">安全装置</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">静電気除去装置</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">架　　台</td><td colspan="3">材質　スチール　固定方法　ボルト固定</td></tr>
<tr><td colspan="2">加熱・冷却設備</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">乾燥設備</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">加圧設備</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">標識・掲示板</td><td colspan="3">「少量危険物貯蔵取扱所　類別　品名　最大数量」「火気厳禁」</td></tr>
<tr><td colspan="2">消火設備</td><td colspan="3">ＡＢＣ粉末消火器１０型×１本</td></tr>
</table>

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　次の図面を添付すること。

配置図、平面図（配管ルートを記載）、姿図、断面図及びその他必要な図面（検査済証の写し、機器の仕様書等）